

発表!

カーグッズ・オブ・ザ・イヤー

2014



今年一年を象徴する語り継ぐべき意義ある名品達

一年を締めくくる号として、今年も恒例「オブ・ザ・イヤー」製品を発表!
今年一年を振り返り、大きな話題・反響を集めたエポックメイキングな逸品を
ここであらためて讃えよう。春夏秋冬、2014年の節目に登場し、
カーグッズ市場の流れを大きく変えた逸品たち。その顔ぶれを見れば、今年一年が分かる!

受賞製品から見て取れる
2014年の重大ニュース

世相を色濃く反映することになった今年の結果。ディーゼル車の復権に伴う対応オイルが満を持して登場し、保護力に優れた超耐久コーティング剤も、消費税のタイミングである春先に登場したものだ。こうした新車業界の事情はもちろん、マイカーの維持環境も今に即したものが必要になる。相次ぐ洗車場の廃止に伴い、洗車環境がますます制約を受けるなか、水を使わない洗車ケミカルが話題を集めた。目には見えない空気中の汚れが脅威になるなかで、空気浄化は今のカーグッズを語るキーワードにもなった。他方、従来路線の追求も一際進み、カーナビのディスプレイが10型に到達し、ドライブレコーダー、メーカー・レーダー探知機という機能が結びつく複合機能化はさらに加速。プライベートブランドも一気にその性能を引き上げ、LED汎用ライトはついにヘッドライトまで射程に入れる。プランニューの話題のみならず、かつて一時代を築いたブランドも復活を果たすなど、「新しさ」だけに留まらない多種多様な話題に溢れた2014年だったといえよう。



リンレイ
エナジーコート PRO

「市販汎用品という枠のなかで耐久力を極限にまで高め、15ヵ月間耐久という途方もないレベルにまで到達。二液混合という特殊用法ながら、高い保護力を象徴する商品設定として市場に浸透した」



SOFT99
SMOOTH EGG マイクロホイップ

「水を使わない洗車コート剤が続々と登場するなか、真打ちとして颯爽と登場。ホイップ状のコート剤は垂れも少なく、伸びもいい。「フクヒカ」から脈々と続く“水無し簡単”のコンセプトを見事に踏襲する」



ALPINE
ビッグXプレミアムシリーズ

「大画面化が進むAVN機にあって、極めつけとして登場。車種専用設計でなければならぬフィット感と独自の存在感は、熱烈なファンをつかんで離さず、“ビッグX”の名を一層世に知らしめた」



Maxrun EVERROAD

AUTOBACS
Maxrun EVERROAD

「タイヤベリリング制度における「A-c」性能を獲得するなど、低燃費タイヤの基準をクリアしたエコポッセイキングな逸品。プライベートブランドにおける、割安感先行のイメージを払拭する先駆けともなった。」



IPF
LEDヘッドランプ

「汎用品の市販化が待たれるなか、いの一歩で名前が挙がったのがIPF。2014年も数多くの製品を市場投入し、ファンのみならず、多くのカーオーナーのニーズを満たす。LEDヘッドランプバルブはその象徴でもある」



「**読えずにはいられない！2014年を彩る名品、十選**」



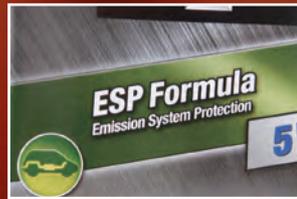
エステー
クリアフォレスト

「消臭効果のみならず、ケミカル力で空気そのものを浄化する動きを持つ。間伐材を有効利用するアイデアも市場の関心を集めるトピックスとなり、つけ替え用のラインアップ展開も支持を集める結果となった」



Panasonic
Gorilla EYE

「スマートフォンがカーライフをも席捲するなか、幅広いユーザー層から今も変わらず支持を受け続ける特別な車載機。最新型ではカメラ一体の独自進化を果たし、唯一無二の純日本型オールインワン機となっている」



Mobil
ESPフォーミュラ 5W-30

「ここ日本でも着々とその数を増やすクリーンディーゼル適合品として、2014年秋より市場に登場。ハイパフォーマンスカー向けを含めたラインアップのなかにあっても、屈指のオイル性能を誇る」



BLITZ
Smart-B.R.A.I.N.

「マルチ車両メーターにレーダー探知機を加えるという、従来とは異なるアプローチで製品ジャンルを創出。本体単独でも機能し、スマートフォンとも連動可能など、ユーザー本位で使い分けられる幅の広さに一日の長がある」



NAPOLEX
OPTICS ワイドミラー

「ファンが歓喜した、往年の名ブランド、復活のニュース。手軽なアクセサリー品が趨勢を占めるなか、「よい良い物」の指針をあらためて指し示し、市販ルームミラー全体に対する興味関心を高める結果となった」

